

運用報告書 (全体版)

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投資 / 内外 / 債券	
信託期間	2010年1月20日から2020年1月23日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <円コース>	主として円建ての外国投資信託である「ダイヤモンドフィナンシャルセキュリティーズファンドクラス(JPY)」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「DIAマネーマーザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <豪ドルコース>	主として円建ての外国投資信託である「ダイヤモンドフィナンシャルセキュリティーズファンドクラス(AUD)」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「DIAマネーマーザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <ブラジルリアルコース>	主として円建ての外国投資信託である「ダイヤモンドフィナンシャルセキュリティーズファンドクラス(BRL)」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「DIAマネーマーザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <中国元コース>	主として円建ての外国投資信託である「ダイヤモンドフィナンシャルセキュリティーズファンドクラス(CNY)」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「DIAマネーマーザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <円コース>	主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、先進国の金融機関 ^{(*)1} が発行したハイブリッド証券 ^{(*)2} に実質的な投資を行います。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。 (*)1 金融機関に関連する特別目的会社を含みます(以下、他のコースも同じ。) (*)2 ハイブリッド証券とは、普通株式と債券の中間的特性を有する有価証券であり、劣後債、優先投資証券などをいいます(以下、他のコースも同じ。) 外国投資信託においては、ユーロ、米ドルなど複数通貨(以下、「原資産通貨」といいます。他のコースも同じ。)建てのハイブリッド証券に投資しますが、この「原資産通貨」を売り予約し、円を買い予約する為替取引を行います。
	世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <豪ドルコース>	主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、先進国の金融機関が発行したハイブリッド証券に実質的な投資を行います。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。 外国投資信託においては、ユーロ、米ドルなど複数通貨建てのハイブリッド証券に投資しますが、この「原資産通貨」を売り予約し、豪ドルを買い予約する為替取引を行います。
	世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <ブラジルリアルコース>	主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、先進国の金融機関が発行したハイブリッド証券に実質的な投資を行います。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。 外国投資信託においては、ユーロ、米ドルなど複数通貨建てのハイブリッド証券に投資しますが、この「原資産通貨」を売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行います。
	世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <中国元コース>	主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、先進国の金融機関が発行したハイブリッド証券に実質的な投資を行います。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。 外国投資信託においては、ユーロ、米ドルなど複数通貨建てのハイブリッド証券に投資しますが、この「原資産通貨」を売り予約し、中国元を買い予約する為替取引を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	決算日(原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の剰余金等収益および有価証券(評価益を含みます。)等の全額を分配対象とし、基準価額水準、市場動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として剰余金等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。 「原則として剰余金等収益等を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることに留意ください。	

<円コース>
<豪ドルコース>
<ブラジルリアルコース>
<中国元コース>

第106期 <決算日 2018年11月26日>
第107期 <決算日 2018年12月25日>
第108期 <決算日 2019年1月23日>
第109期 <決算日 2019年2月25日>
第110期 <決算日 2019年3月25日>
第111期 <決算日 2019年4月23日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)」は、2019年4月23日に第111期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694
受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2
<http://www.am-one.co.jp/>

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）＜円コース＞

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	騰落 中率		
第15作成期	82期(2016年11月24日)	円 8,258	円 40	% △1.0	% 98.0	百万円 1,002
	83期(2016年12月26日)	8,226	40	0.1	97.9	999
	84期(2017年1月23日)	8,182	40	△0.0	98.3	990
	85期(2017年2月23日)	8,185	40	0.5	97.8	982
	86期(2017年3月23日)	8,150	40	0.1	97.8	962
	87期(2017年4月24日)	8,153	40	0.5	97.7	962
第16作成期	88期(2017年5月23日)	8,175	40	0.8	97.7	950
	89期(2017年6月23日)	8,158	40	0.3	97.7	923
	90期(2017年7月24日)	8,112	40	△0.1	97.8	895
	91期(2017年8月23日)	8,099	40	0.3	97.8	894
	92期(2017年9月25日)	8,047	40	△0.1	97.5	813
	93期(2017年10月23日)	8,021	40	0.2	97.6	810
第17作成期	94期(2017年11月24日)	8,008	40	0.3	97.8	808
	95期(2017年12月25日)	7,950	40	△0.2	97.8	802
	96期(2018年1月23日)	7,923	40	0.2	97.9	798
	97期(2018年2月23日)	7,793	40	△1.1	97.7	784
	98期(2018年3月23日)	7,714	40	△0.5	97.9	774
	99期(2018年4月23日)	7,676	40	0.0	98.0	768
第18作成期	100期(2018年5月23日)	7,579	40	△0.7	97.8	758
	101期(2018年6月25日)	7,530	40	△0.1	97.7	749
	102期(2018年7月23日)	7,471	40	△0.3	97.6	743
	103期(2018年8月23日)	7,451	40	0.3	97.7	741
	104期(2018年9月25日)	7,394	40	△0.2	97.7	730
	105期(2018年10月23日)	7,318	40	△0.5	97.7	720
第19作成期	106期(2018年11月26日)	7,206	40	△1.0	98.2	700
	107期(2018年12月25日)	7,177	40	0.2	97.7	697
	108期(2019年1月23日)	7,174	20	0.2	97.7	697
	109期(2019年2月25日)	7,204	20	0.7	97.7	700
	110期(2019年3月25日)	7,231	20	0.7	97.7	702
	111期(2019年4月23日)	7,241	20	0.4	97.6	692

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

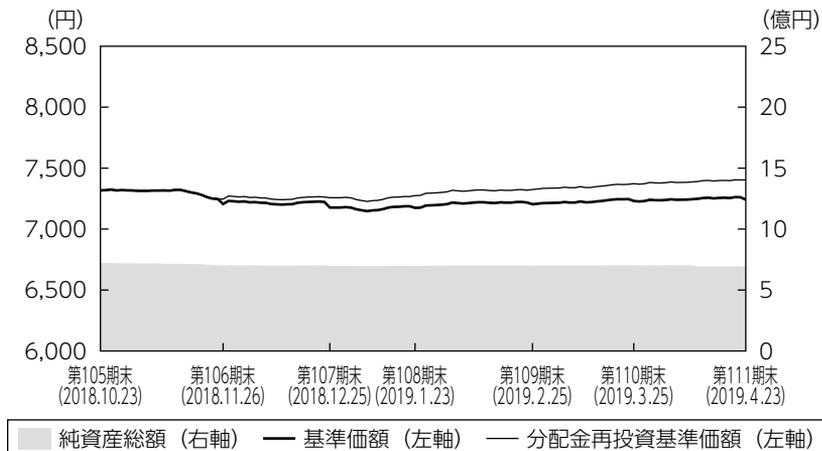
決算期	年 月 日	基準 価 額		投資信託受益証券 組 入 比 率
		騰 落 率	率	
第106期	(期首) 2018年10月23日	円 7,318	% -	% 97.7
	10月 末	7,317	△0.0	98.0
	(期末) 2018年11月26日	7,246	△1.0	98.2
第107期	(期首) 2018年11月26日	7,206	-	98.2
	11月 末	7,227	0.3	97.8
	(期末) 2018年12月25日	7,217	0.2	97.7
第108期	(期首) 2018年12月25日	7,177	-	97.7
	12月 末	7,180	0.0	97.7
	(期末) 2019年1月23日	7,194	0.2	97.7
第109期	(期首) 2019年1月23日	7,174	-	97.7
	1月 末	7,205	0.4	97.7
	(期末) 2019年2月25日	7,224	0.7	97.7
第110期	(期首) 2019年2月25日	7,204	-	97.7
	2月 末	7,214	0.1	97.7
	(期末) 2019年3月25日	7,251	0.7	97.7
第111期	(期首) 2019年3月25日	7,231	-	97.7
	3月 末	7,237	0.1	97.7
	(期末) 2019年4月23日	7,261	0.4	97.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第106期～第111期の運用経過（2018年10月24日から2019年4月23日まで）

基準価額等の推移



第106期首： 7,318円
 第111期末： 7,241円
 （既払分配金160円）
 騰落率： 1.2%
 （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

F R B（米連邦準備理事会）が2019年年初にハト派姿勢に転じたことから米国の長期国債利回りは低下（価格は上昇）しました。ハイブリッド証券は、2018年末にかけて米中貿易摩擦の悪化等により、金融市場のリスク回避的な動きが広がったことから、国債利回りとの格差を示す信用スプレッドは拡大しました。その後、2019年年初にF R Bがハト派姿勢に転じたことから金融市場のリスク許容度が改善し、信用スプレッドは大幅に縮小し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

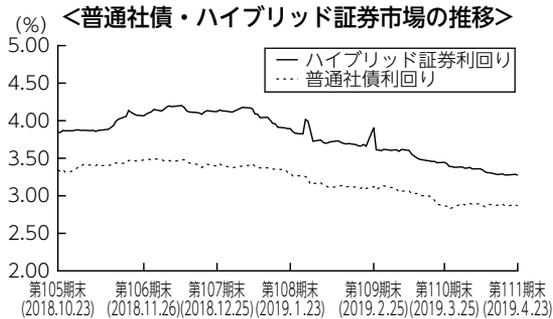
組入ファンド	騰落率
ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (J P Y)	1.9%
D I A M マネー マザー ファンド	0.0%

(注) ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (J P Y) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

ハイブリッド証券市場は上昇しました。グローバル経済に対する減速懸念が高まり、F R BとE C B（欧州中央銀行）が金融緩和姿勢を強めたことから主要先進国の国債利回りは低下（価格は上昇）しました。信用スプレッドは、投資家のリスク回避的な動きを受けて一旦拡大した後、投資家のリスクセンチメントの回復を受けて主要株価指数等のリスク資産の価格が上昇する中、大きく縮小しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは $\Delta 0.3\%$ 台 $\sim\Delta 0.1\%$ 台で推移するなど、レンジ内の推移となりました。米国の金融引き締めペースはやや鈍化しつつありますが、日本の金融政策には変化がないことから国内短期金融市場への影響は限定的でした。



※普通社債利回りはブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合：社債インデックスの利回り（*）、ハイブリッド証券利回りはブルームバーグ・バークレイズ・グローバル優先証券インデックスの利回り（*）です。

（*）利回りは、繰上償還利回りを表示しています。繰上償還利回りとは、債券の満期前に発行体により償還（コール）もしくは、買い戻され、繰上償還日に投資家が額面の支払いを受ける場合の利回りをいいます。繰上償還の実施は発行体の任意で行われるため、必ず繰上償還日に償還されるとは限りません。

※ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (J P Y) の組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (J P Y)

世界の主要金融機関が発行するハイブリッド証券を中心にポートフォリオを構成しました。発行体の業績動向や信用力に加えて、ハイブリッド証券特有のリスクを評価し、分散投資を基本としました。国別配分においては、フランス、米国、英国のウェイトを高く維持しました。債券種別においては、期限付劣後債のみのポートフォリオとしました。

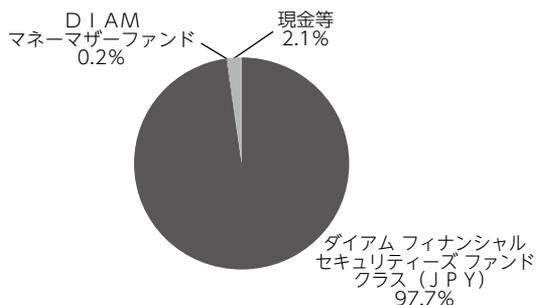
また、ユーロ、米ドルなど複数通貨 (以下、「原資産通貨」といいます。) を売り予約し、円を買い予約する為替取引を行いました。

●D I A Mマネーマザーファンド

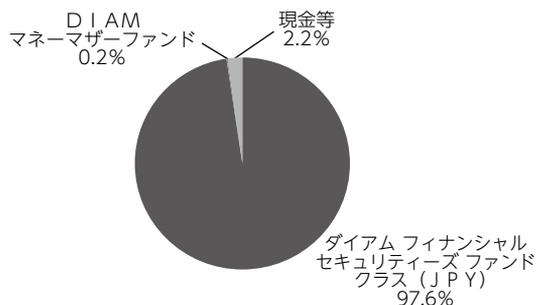
残存期間の短い政府保証債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
	2018年10月24日 ~2018年11月26日	2018年11月27日 ~2018年12月25日	2018年12月26日 ~2019年1月23日	2019年1月24日 ~2019年2月25日	2019年2月26日 ~2019年3月25日	2019年3月26日 ~2019年4月23日
当期分配金（税引前）	40円	40円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.55%	0.55%	0.28%	0.28%	0.28%	0.28%
当期の収益	40円	40円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	226円	227円	229円	235円	240円	244円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（J P Y）を高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（J P Y）

主要先進国の国債利回りが低水準で推移する中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の需要は根強く、市場は堅調に推移すると思われれます。引き続き、発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、世界の主要金融機関に継続して投資します。銘柄選択においては、繰上償還延期リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。加えて、「原資産通貨」を売り予約し、円を買い予約する為替取引を行います。

●D I A Mマネーマザーファンド

日銀の物価目標である2%まではまだ距離があるため、当面は金融政策を据え置くと予想されています。今後もマイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを組み入れた運用を行ってまいります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第106期～第111期 (2018年10月24日 ～2019年4月23日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	49円	
(投信会社)	(18)	(0.247)	
(販売会社)	(29)	(0.403)	
(受託銀行)	(2)	(0.021)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	49	0.673	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

■ 売買及び取引の状況（2018年10月24日から2019年4月23日まで）

投資信託受益証券

		第 106 期 ～ 第 111 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 邦 建	ダイヤモンド ファイナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス(JPY)	千口 —	千円 —	千口 2.7	千円 19,353

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年10月24日から2019年4月23日まで）
 期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2018年10月24日から2019年4月23日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ン ド 名	第 18 作 成 期 末	第 19 作 成 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
ダイヤモンドファイナンシャルセキュリティーズファンドクラス(JPY)	97.52331	94.82331	676,469	97.6
合 計	97.52331	94.82331	676,469	97.6

(注) 比率は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 18 作 成 期 末	第 19 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	1,281	1,281	1,294

■投資信託財産の構成

2019年4月23日現在

項 目	第 19 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 676,469	% 97.3
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	1,294	0.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	17,808	2.6
投 資 信 託 財 産 総 額	695,571	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年11月26日)、(2018年12月25日)、(2019年1月23日)、(2019年2月25日)、(2019年3月25日)、(2019年4月23日)現在

項 目	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末
(A) 資 産	708,699,909円	702,353,825円	700,341,491円	703,194,633円	704,979,042円	695,571,941円
コール・ローン等	19,896,353	19,379,492	17,848,774	17,908,668	17,284,994	17,808,051
投資信託受益証券(評価額)	687,509,287	681,680,064	681,198,448	683,991,824	686,399,907	676,469,493
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	1,294,269	1,294,269	1,294,269	1,294,141	1,294,141	1,294,397
(B) 負 債	8,408,282	4,642,744	2,942,473	2,802,084	2,671,318	2,663,409
未払収益分配金	3,887,261	3,888,499	1,944,178	1,944,496	1,942,519	1,913,806
未払解約金	3,620,000	-	248,513	-	-	-
未払信託報酬	898,988	752,534	748,100	855,647	727,147	747,905
その他未払費用	2,033	1,711	1,682	1,941	1,652	1,698
(C) 純資産総額(A-B)	700,291,627	697,711,081	697,399,018	700,392,549	702,307,724	692,908,532
元 本	971,815,312	972,124,976	972,089,434	972,248,025	971,259,975	956,903,200
次期繰越損益金	△271,523,685	△274,413,895	△274,690,416	△271,855,476	△268,952,251	△263,994,668
(D) 受 益 権 総 口 数	971,815,312口	972,124,976口	972,089,434口	972,248,025口	971,259,975口	956,903,200口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,206円	7,177円	7,174円	7,204円	7,231円	7,241円

(注) 第105期末における元本額は984,960,181円、当作成期間(第106期～第111期)中における追加設定元本額は1,400,946円、同解約元本額は29,457,927円です。

■損益の状況

〔自 2018年10月24日 至 2018年11月26日〕〔自 2018年11月27日 至 2018年12月25日〕〔自 2018年12月26日 至 2019年 1月23日〕〔自 2019年 1月24日 至 2019年 2月25日〕〔自 2019年 2月26日 至 2019年 3月25日〕〔自 2019年 3月26日 至 2019年 4月23日〕

項 目	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
(A) 配 当 等 収 益	4,813,899円	4,815,073円	2,887,830円	2,888,580円	2,889,051円	2,843,623円
受 取 配 当 金	4,815,209	4,816,166	2,888,918	2,889,699	2,889,699	2,844,699
受 取 利 息	3	-	-	-	-	7
支 払 利 息	△1,313	△1,093	△1,088	△1,119	△648	△1,083
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△10,943,555	△2,976,023	△480,413	2,793,248	2,409,206	801,663
売 買 益	51,726	10,000	447	2,793,376	2,408,083	790,342
売 買 損	△10,995,281	△2,986,023	△480,860	△128	1,123	11,321
(C) 信 託 報 酬 等	△901,021	△754,245	△749,782	△857,588	△728,799	△749,603
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△7,030,677	1,084,805	1,657,635	4,824,240	4,569,458	2,895,683
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△202,411,569	△213,329,507	△216,056,110	△216,342,653	△213,211,239	△207,437,290
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△58,194,178	△58,280,694	△58,347,763	△58,392,567	△58,367,951	△57,539,255
(配 当 等 相 当 額)	(14,272,055)	(14,279,064)	(14,281,062)	(14,284,708)	(14,271,586)	(14,062,100)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△72,466,233)	(△72,559,758)	(△72,628,825)	(△72,677,275)	(△72,639,537)	(△71,601,355)
(G) 合 計 (D+E+F)	△267,636,424	△270,525,396	△272,746,238	△269,910,980	△267,009,732	△262,080,862
(H) 収 益 分 配 金	△3,887,261	△3,888,499	△1,944,178	△1,944,496	△1,942,519	△1,913,806
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△271,523,685	△274,413,895	△274,690,416	△271,855,476	△268,952,251	△263,994,668
追 加 信 託 差 損 益 金	△58,194,178	△58,280,694	△58,347,763	△58,392,567	△58,367,951	△57,539,255
(配 当 等 相 当 額)	(14,272,055)	(14,279,064)	(14,281,062)	(14,284,708)	(14,271,586)	(14,062,100)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△72,466,233)	(△72,559,758)	(△72,628,825)	(△72,677,275)	(△72,639,537)	(△71,601,355)
分 配 準 備 積 立 金	7,698,915	7,871,878	8,063,477	8,572,121	9,111,509	9,320,464
繰 越 損 益 金	△221,028,422	△224,005,079	△224,406,130	△222,035,030	△219,695,809	△215,775,877

(注 1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注 2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注 3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注 4) 分配金の計算過程

項 目	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,913,636円	4,061,462円	2,138,584円	2,453,140円	2,492,014円	2,258,924円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	14,272,055	14,279,064	14,281,062	14,284,708	14,271,586	14,062,100
(d) 分 配 準 備 積 立 金	7,672,540	7,698,915	7,869,071	8,063,477	8,562,014	8,975,346
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	25,858,231	26,039,441	24,288,717	24,801,325	25,325,614	25,296,370
(f) 1万口当たり当期分配対象額	266.08	267.86	249.86	255.09	260.75	264.36
(g) 分 配 金	3,887,261	3,888,499	1,944,178	1,944,496	1,942,519	1,913,806
(h) 1万口当たり分配金	40	40	20	20	20	20

■分配金のお知らせ

決算期	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
1万口当たり分配金	40円	40円	20円	20円	20円	20円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）＜豪ドルコース＞

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 入金	期騰落 中率		
第15作成期	82期(2016年11月24日)	円 8,196	円 70	% 2.9	% 97.5	百万円 179
	83期(2016年12月26日)	8,450	70	4.0	97.7	199
	84期(2017年1月23日)	8,584	70	2.4	97.5	202
	85期(2017年2月23日)	8,620	70	1.2	98.1	197
	86期(2017年3月23日)	8,379	70	△2.0	97.8	192
	87期(2017年4月24日)	8,088	70	△2.6	97.5	185
第16作成期	88期(2017年5月23日)	8,183	70	2.0	97.5	187
	89期(2017年6月23日)	8,236	70	1.5	97.6	189
	90期(2017年7月24日)	8,564	70	4.8	97.8	196
	91期(2017年8月23日)	8,403	70	△1.1	97.6	193
	92期(2017年9月25日)	8,591	70	3.1	97.5	198
	93期(2017年10月23日)	8,489	70	△0.4	96.8	174
第17作成期	94期(2017年11月24日)	8,094	70	△3.8	97.7	166
	95期(2017年12月25日)	8,259	70	2.9	97.6	169
	96期(2018年1月23日)	8,370	70	2.2	98.2	167
	97期(2018年2月23日)	7,764	70	△6.4	97.6	157
	98期(2018年3月23日)	7,443	70	△3.2	97.3	151
	99期(2018年4月23日)	7,489	70	1.6	97.3	151
第18作成期	100期(2018年5月23日)	7,528	70	1.5	97.9	151
	101期(2018年6月25日)	7,224	70	△3.1	97.7	145
	102期(2018年7月23日)	7,246	70	1.3	97.5	145
	103期(2018年8月23日)	7,080	70	△1.3	95.1	107
	104期(2018年9月25日)	7,069	70	0.8	94.9	107
	105期(2018年10月23日)	6,812	70	△2.6	94.5	103
第19作成期	106期(2018年11月26日)	6,862	70	1.8	94.5	104
	107期(2018年12月25日)	6,528	70	△3.8	95.9	97
	108期(2019年1月23日)	6,476	35	△0.3	95.6	97
	109期(2019年2月25日)	6,574	35	2.1	96.4	108
	110期(2019年3月25日)	6,501	35	△0.6	96.2	107
	111期(2019年4月23日)	6,676	35	3.2	96.2	110

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

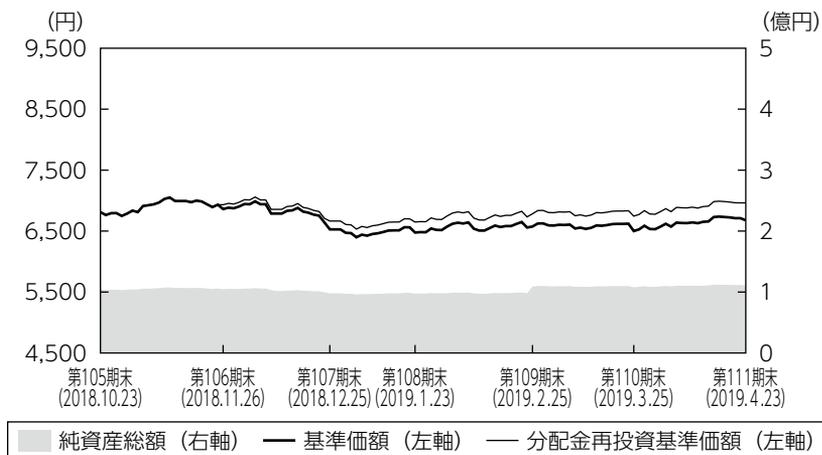
決算期	年 月 日	基準 価 額		投資信託受益証券 組 入 比 率
		騰 落 率	率	
第106期	(期 首) 2018 年 10 月 23 日	円 6,812	% -	% 94.5
	10 月 末	6,835	0.3	94.3
	(期 末) 2018 年 11 月 26 日	6,932	1.8	94.5
第107期	(期 首) 2018 年 11 月 26 日	6,862	-	94.5
	11 月 末	6,944	1.2	94.7
	(期 末) 2018 年 12 月 25 日	6,598	△3.8	95.9
第108期	(期 首) 2018 年 12 月 25 日	6,528	-	95.9
	12 月 末	6,472	△0.9	95.6
	(期 末) 2019 年 1 月 23 日	6,511	△0.3	95.6
第109期	(期 首) 2019 年 1 月 23 日	6,476	-	95.6
	1 月 末	6,574	1.5	96.2
	(期 末) 2019 年 2 月 25 日	6,609	2.1	96.4
第110期	(期 首) 2019 年 2 月 25 日	6,574	-	96.4
	2 月 末	6,594	0.3	96.4
	(期 末) 2019 年 3 月 25 日	6,536	△0.6	96.2
第111期	(期 首) 2019 年 3 月 25 日	6,501	-	96.2
	3 月 末	6,531	0.5	96.1
	(期 末) 2019 年 4 月 23 日	6,711	3.2	96.2

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第106期～第111期の運用経過（2018年10月24日から2019年4月23日まで）

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。ハイブリッド証券利回りと国債利回りの格差を示す信用スプレッドが縮小するとともに、世界的な金利の低下を背景にハイブリッド証券価格が上昇したことがプラス要因となりました。豪ドルは2018年末にかけて金融市場のリスク回避的な動きを受けて対円で下落しましたが、作成期後半にかけて金融市場のリスク許容度が改善したことを受けて上昇し、ほぼ横ばいの水準となりました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD)	3.1%
D I A Mマネーマザーファンド	0.0%

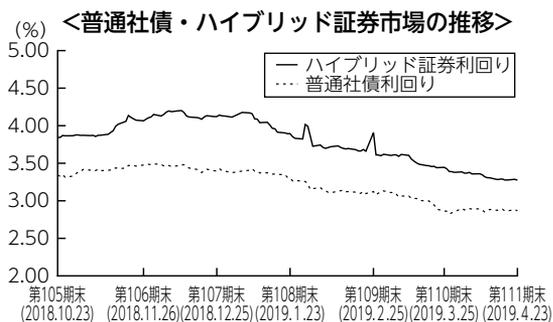
(注) ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

ハイブリッド証券市場は上昇しました。グローバル経済に対する減速懸念が高まり、F R B（米連邦準備理事会）とE C B（欧州中央銀行）が金融緩和姿勢を強めたことから主要先進国の国債利回りは低下（価格は上昇）しました。信用スプレッドは、投資家のリスク回避的な動きを受けて一旦拡大した後、投資家のリスクセンチメントの回復を受けて主要株価指数等のリスク資産の価格が上昇する中、大きく縮小しました。

豪ドル／円相場はほぼ横ばいとなりました。当作成期は、まず2018年末にかけて、米中貿易摩擦への懸念やグローバル経済に対する減速懸念が高まったことから豪ドル安が進みました。その後、F R BとE C Bが金融緩和姿勢を強めたことを受け、投資家のリスク許容度が回復しリスク資産の価格が上昇する中、豪ドルは上昇に転じ、ほぼ作成期初の水準まで回復しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは $\Delta 0.3\%$ 台～ $\Delta 0.1\%$ 台で推移するなど、レンジ内の推移となりました。米国の金融引き締めペースはやや鈍化しつつありますが、日本の金融政策には変化がないことから国内短期金融市場への影響は限定的でした。



※普通社債利回りはブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合：社債インデックスの利回り (*)、ハイブリッド証券利回りはブルームバーグ・バークレイズ・グローバル優先証券インデックスの利回り (*) です。

(*) 利回りは、繰上償還利回りを表示しています。繰上償還利回りとは、債券の満期前に発行体により償還（コール）もしくは、買い戻され、繰上償還日に投資家が額面の支払いを受ける場合の利回りをいいます。繰上償還の実施は発行体の任意で行われるため、必ず繰上償還日に償還されるとは限りません。

※ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD) の組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (AUD)

世界の主要金融機関が発行するハイブリッド証券を中心にポートフォリオを構成しました。発行体の業績動向や信用力に加えて、ハイブリッド証券特有のリスクを評価し、分散投資を基本としました。国別配分においては、フランス、米国、英国のウェイトを高く維持しました。債券種別においては、期限付劣後債のみのポートフォリオとしました。

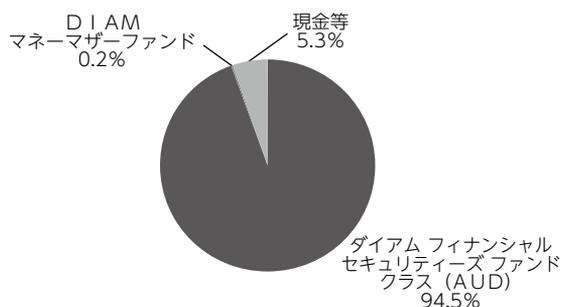
また、ユーロ、米ドルなど複数通貨（以下、「原資産通貨」といいます。）を売り予約し、豪ドルを買い予約する為替取引を行いました。

●D I A Mマネーマザーファンド

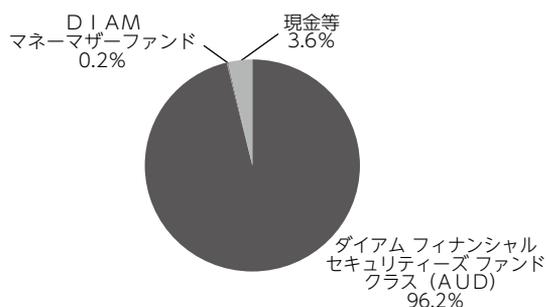
残存期間の短い政府保証債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
	2018年10月24日 ~2018年11月26日	2018年11月27日 ~2018年12月25日	2018年12月26日 ~2019年1月23日	2019年1月24日 ~2019年2月25日	2019年2月26日 ~2019年3月25日	2019年3月26日 ~2019年4月23日
当期分配金（税引前）	70円	70円	35円	35円	35円	35円
対基準価額比率	1.01%	1.06%	0.54%	0.53%	0.54%	0.52%
当期の収益	70円	70円	35円	35円	35円	35円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	2,301円	2,306円	2,308円	2,314円	2,316円	2,323円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（AUD）を高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（AUD）

主要先進国の国債利回りが低水準で推移する中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の需要は根強く、市場は堅調に推移すると思われます。引き続き、発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、世界の主要金融機関に継続して投資します。銘柄選択においては、繰上償還延期リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。加えて、「原資産通貨」を売り予約し、豪ドルを買い予約する為替取引を行います。

●D I AMマネーマザーファンド

日銀の物価目標である2%まではまだ距離があるため、当面は金融政策を据え置くと予想されています。今後もマイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを組み入れた運用を行ってまいります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第106期～第111期 (2018年10月24日 ～2019年4月23日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	45円	
(投信会社)	(17)	(0.247)	
(販売会社)	(27)	(0.404)	
(受託銀行)	(1)	(0.021)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	45	0.673	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

■ 売買及び取引の状況（2018年10月24日から2019年4月23日まで）

投資信託受益証券

		第 106 期 ～ 第 111 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 建	ダイヤモンド ファイナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス(AUD)	千口 1.61439	千円 10,500	千口 -	千円 -

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年10月24日から2019年4月23日まで）
 期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2018年10月24日から2019年4月23日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ン ド 名	第 18 作 成 期 末	第 19 作 成 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
ダイヤモンドファイナンシャルセキュリティーズファンドクラス(AUD)	14.53852	16.15291	106,689	96.2
合 計	14.53852	16.15291	106,689	96.2

(注) 比率は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 18 作 成 期 末	第 19 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	246	246	249

■投資信託財産の構成

2019年4月23日現在

項 目	第 19 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 106,689	% 95.5
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	249	0.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,720	4.2
投 資 信 託 財 産 総 額	111,660	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年11月26日)、(2018年12月25日)、(2019年1月23日)、(2019年2月25日)、(2019年3月25日)、(2019年4月23日)現在

項 目	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末
(A) 資 産	105,875,873円	98,972,998円	97,920,507円	120,133,745円	108,602,924円	111,660,124円
コール・ローン等	6,692,055	4,906,739	4,653,867	14,826,053	4,539,006	4,720,939
投資信託受益証券(評価額)	98,934,628	93,817,069	93,017,450	105,058,526	103,814,752	106,689,970
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	249,190	249,190	249,190	249,166	249,166	249,215
(B) 負 債	1,200,768	1,159,878	630,501	11,199,966	694,439	699,893
未 払 金	—	—	—	10,500,000	—	—
未 払 収 益 分 配 金	1,067,738	1,048,925	525,819	579,948	580,937	581,741
未 払 信 託 報 酬	132,751	110,721	104,450	119,754	113,250	117,891
そ の 他 未 払 費 用	279	232	232	264	252	261
(C) 純資産総額(A-B)	104,675,105	97,813,120	97,290,006	108,933,779	107,908,485	110,960,231
元 本	152,534,018	149,846,434	150,234,074	165,699,664	165,982,282	166,211,743
次 期 繰 越 損 益 金	△47,858,913	△52,033,314	△52,944,068	△56,765,885	△58,073,797	△55,251,512
(D) 受 益 権 総 口 数	152,534,018口	149,846,434口	150,234,074口	165,699,664口	165,982,282口	166,211,743口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,862円	6,528円	6,476円	6,574円	6,501円	6,676円

(注) 第105期末における元本額は152,444,885円、当作成期間(第106期～第111期)中における追加設定元本額は18,117,701円、同解約元本額は4,350,843円です。

■損益の状況

〔自 2018年10月24日 至 2018年11月26日〕〔自 2018年11月27日 至 2018年12月25日〕〔自 2018年12月26日 至 2019年 1月23日〕〔自 2019年 1月24日 至 2019年 2月25日〕〔自 2019年 2月26日 至 2019年 3月25日〕〔自 2019年 3月26日 至 2019年 4月23日〕

項 目	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
(A) 配 当 等 収 益	1,162,617円	1,235,437円	653,955円	653,962円	726,706円	726,624円
受 取 配 当 金	1,163,082	1,235,774	654,233	654,233	726,881	726,881
受 取 利 息	-	2	-	-	-	-
支 払 利 息	△465	△339	△278	△271	△175	△257
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	811,926	△5,093,167	△799,619	1,538,911	△1,243,774	2,875,267
売 買 益	814,157	18,143	-	1,541,076	-	2,875,267
売 買 損	△2,231	△5,111,310	△799,619	△2,165	△1,243,774	-
(C) 信 託 報 酬 等	△133,030	△110,953	△104,682	△120,018	△113,502	△118,152
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	1,841,513	△3,968,683	△250,346	2,072,855	△630,570	3,483,739
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△43,733,000	△42,099,986	△47,117,594	△47,572,887	△46,079,980	△47,291,487
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△4,899,688	△4,915,720	△5,050,309	△10,685,905	△10,782,310	△10,862,023
(配 当 等 相 当 額)	(14,237,676)	(14,036,545)	(14,125,976)	(17,893,199)	(17,958,938)	(18,012,145)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△19,137,364)	(△18,952,265)	(△19,176,285)	(△28,579,104)	(△28,741,248)	(△28,874,168)
(G) 合 計 (D+E+F)	△46,791,175	△50,984,389	△52,418,249	△56,185,937	△57,492,860	△54,669,771
(H) 収 益 分 配 金	△1,067,738	△1,048,925	△525,819	△579,948	△580,937	△581,741
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△47,858,913	△52,033,314	△52,944,068	△56,765,885	△58,073,797	△55,251,512
追 加 信 託 差 損 益 金	△4,899,688	△4,915,720	△5,050,309	△10,685,905	△10,782,310	△10,862,023
(配 当 等 相 当 額)	(14,237,676)	(14,036,545)	(14,125,976)	(17,893,200)	(17,958,938)	(18,012,145)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△19,137,364)	(△18,952,265)	(△19,176,285)	(△28,579,105)	(△28,741,248)	(△28,874,168)
分 配 準 備 積 立 金	20,873,642	20,531,822	20,555,379	20,455,999	20,488,350	20,609,410
繰 越 損 益 金	△63,832,867	△67,649,416	△68,449,138	△66,535,979	△67,779,837	△64,998,899

(注 1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注 2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注 3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注 4) 分配金の計算過程

項 目	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,084,418円	1,124,603円	549,376円	618,281円	613,288円	702,801円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	14,237,676	14,036,545	14,125,976	17,893,200	17,958,938	18,012,145
(d) 分 配 準 備 積 立 金	20,856,962	20,456,144	20,531,822	20,417,666	20,455,999	20,488,350
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	36,179,056	35,617,292	35,207,174	38,929,147	39,028,225	39,203,296
(f) 1万口当たり当期分配対象額	2,371.87	2,376.92	2,343.49	2,349.38	2,351.35	2,358.64
(g) 分 配 金	1,067,738	1,048,925	525,819	579,948	580,937	581,741
(h) 1万口当たり分配金	70	70	35	35	35	35

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
1 万口当たり分配金	70円	70円	35円	35円	35円	35円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）＜ブラジルリアルコース＞

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 入金	騰落 中率		
第15作成期	82期(2016年11月24日)	円 5,157	円 50	% 0.3	% 98.0	百万円 1,128
	83期(2016年12月26日)	5,548	50	8.6	98.1	1,189
	84期(2017年1月23日)	5,644	50	2.6	97.8	1,190
	85期(2017年2月23日)	5,819	50	4.0	98.2	1,221
	86期(2017年3月23日)	5,673	50	△1.6	98.0	1,185
	87期(2017年4月24日)	5,491	50	△2.3	97.7	1,118
第16作成期	88期(2017年5月23日)	5,381	50	△1.1	97.3	1,091
	89期(2017年6月23日)	5,346	50	0.3	97.8	1,071
	90期(2017年7月24日)	5,677	50	7.1	97.9	1,129
	91期(2017年8月23日)	5,550	50	△1.4	98.2	1,085
	92期(2017年9月25日)	5,694	50	3.5	98.0	1,102
	93期(2017年10月23日)	5,638	50	△0.1	97.8	1,053
第17作成期	94期(2017年11月24日)	5,473	50	△2.0	97.7	1,021
	95期(2017年12月25日)	5,375	50	△0.9	97.7	988
	96期(2018年1月23日)	5,446	50	2.3	97.7	996
	97期(2018年2月23日)	5,083	50	△5.7	97.7	927
	98期(2018年3月23日)	4,905	50	△2.5	97.6	893
	99期(2018年4月23日)	4,805	50	△1.0	97.4	874
第18作成期	100期(2018年5月23日)	4,583	50	△3.6	97.3	830
	101期(2018年6月25日)	4,353	50	△3.9	97.3	785
	102期(2018年7月23日)	4,361	50	1.3	97.7	780
	103期(2018年8月23日)	3,995	50	△7.2	97.6	690
	104期(2018年9月25日)	4,051	50	2.7	97.8	691
	105期(2018年10月23日)	4,411	50	10.1	97.7	742
第19作成期	106期(2018年11月26日)	4,244	50	△2.7	96.9	657
	107期(2018年12月25日)	4,040	50	△3.6	97.5	609
	108期(2019年1月23日)	4,073	40	1.8	97.3	615
	109期(2019年2月25日)	4,175	40	3.5	97.7	614
	110期(2019年3月25日)	3,980	40	△3.7	97.8	579
	111期(2019年4月23日)	4,006	40	1.7	97.8	580

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

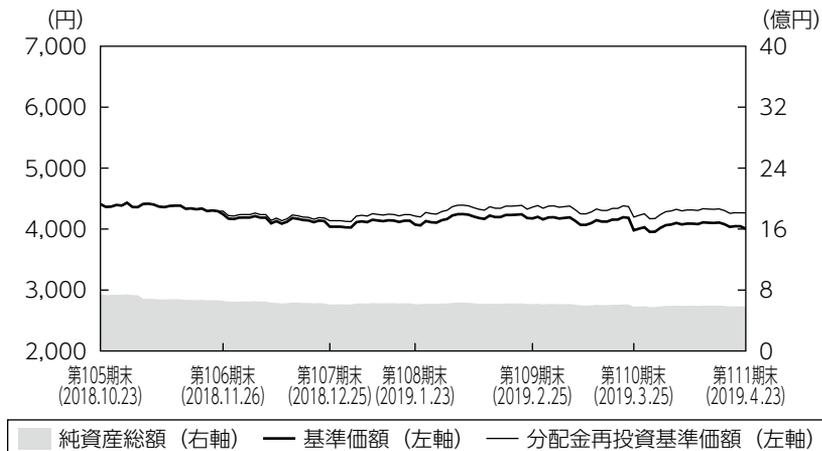
決算期	年 月 日	基準 価 額		投資信託受益証券 組 入 比 率
		騰 落 率	率	
第106期	(期 首) 2018 年 10 月 23 日	円 4,411	% -	% 97.7
	10 月 末	4,362	△1.1	97.7
	(期 末) 2018 年 11 月 26 日	4,294	△2.7	96.9
第107期	(期 首) 2018 年 11 月 26 日	4,244	-	96.9
	11 月 末	4,190	△1.3	96.7
	(期 末) 2018 年 12 月 25 日	4,090	△3.6	97.5
第108期	(期 首) 2018 年 12 月 25 日	4,040	-	97.5
	12 月 末	4,028	△0.3	96.9
	(期 末) 2019 年 1 月 23 日	4,113	1.8	97.3
第109期	(期 首) 2019 年 1 月 23 日	4,073	-	97.3
	1 月 末	4,166	2.3	97.9
	(期 末) 2019 年 2 月 25 日	4,215	3.5	97.7
第110期	(期 首) 2019 年 2 月 25 日	4,175	-	97.7
	2 月 末	4,191	0.4	97.7
	(期 末) 2019 年 3 月 25 日	4,020	△3.7	97.8
第111期	(期 首) 2019 年 3 月 25 日	3,980	-	97.8
	3 月 末	3,957	△0.6	97.7
	(期 末) 2019 年 4 月 23 日	4,046	1.7	97.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第106期～第111期の運用経過（2018年10月24日から2019年4月23日まで）

基準価額等の推移



第106期首： 4,411円
 第111期末： 4,006円
 (既払分配金260円)
 騰落率： △3.3%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ハイブリッド証券利回りと国債利回りの格差を示す信用スプレッドが縮小するとともに、世界的な金利の低下を背景にハイブリッド証券価格が上昇したことがプラス要因となりました。一方、ブラジルレアルは、2018年末にかけて金融市場のリスク回避的な動きを受けて対円で下落した後、一時的に上昇局面があったものの、新政権の政策に対する不透明感などから再度下落し、マイナス要因となりました。その結果、為替のマイナス要因がハイブリッド証券価格上昇のプラス要因を上回り、基準価額は下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (BRL)	△2.9%
DIAMマネーマザーファンド	0.0%

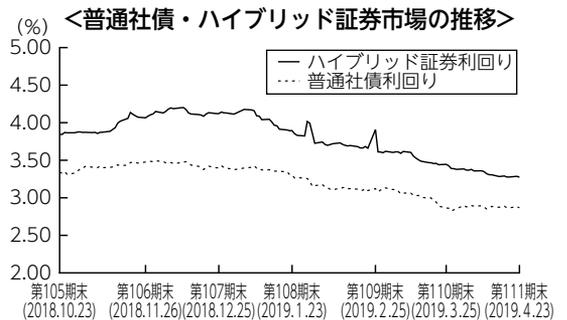
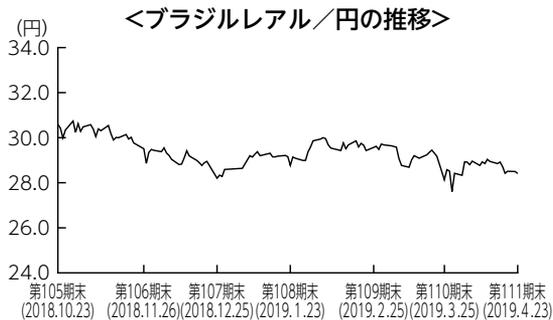
(注) ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (BRL) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

ハイブリッド証券市場は上昇しました。グローバル経済に対する減速懸念が高まり、F R B（米連邦準備理事会）とE C B（欧州中央銀行）が金融緩和姿勢を強めたことから主要先進国の国債利回りは低下（価格は上昇）しました。信用スプレッドは、投資家のリスク回避的な動きを受けて一旦拡大した後、投資家のリスクセンチメントの回復を受けて主要株価指数等のリスク資産の価格が上昇する中、大きく縮小しました。

ブラジルリアル/円相場は円高リアル安となりました。2018年末にかけて、米中貿易摩擦への懸念やグローバル経済に対する減速懸念が高まったことなどからリアル安が進みました。その後、F R BとE C Bが金融緩和姿勢を強めたことはプラス要因となりましたが、年金改革の遅延やボルソナロ大統領の改革推進力に対する懸念が高まったことがマイナス要因となり再度下落しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは $\Delta 0.3\%$ 台 $\sim\Delta 0.1\%$ 台で推移するなど、レンジ内の推移となりました。米国の金融引き締めペースはやや鈍化しつつありますが、日本の金融政策には変化がないことから国内短期金融市場への影響は限定的でした。



※普通社債利回りはブルームバーグ・パークレイズ・グローバル総合：社債インデックスの利回り（*）、ハイブリッド証券利回りはブルームバーグ・パークレイズ・グローバル優先証券インデックスの利回り（*）です。

（*）利回りは、繰上償還利回りを表示しています。繰上償還利回りとは、債券の満期前に発行体により償還（コール）もしくは、買い戻され、繰上償還日に投資家が額面の支払いを受ける場合の利回りをいいます。繰上償還の実施は発行体の任意で行われるため、必ず繰上償還日に償還されるとは限りません。

※ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (B R L) の組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (B R L)

世界の主要金融機関が発行するハイブリッド証券を中心にポートフォリオを構成しました。発行体の業績動向や信用力に加えて、ハイブリッド証券特有のリスクを評価し、分散投資を基本としました。国別配分においては、フランス、米国、英国のウェイトを高く維持しました。債券種別においては、期限付劣後債のみのポートフォリオとしました。

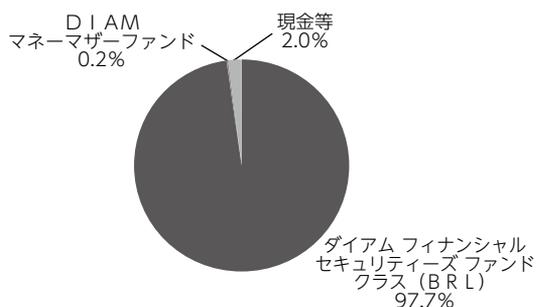
また、ユーロ、米ドルなど複数通貨 (以下、「原資産通貨」といいます。) を売り予約し、ブラジルレアルを買い予約する為替取引を行いました。

●D I A Mマネーマザーファンド

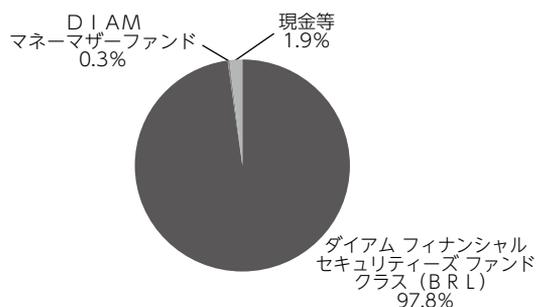
残存期間の短い政府保証債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
	2018年10月24日 ～2018年11月26日	2018年11月27日 ～2018年12月25日	2018年12月26日 ～2019年1月23日	2019年1月24日 ～2019年2月25日	2019年2月26日 ～2019年3月25日	2019年3月26日 ～2019年4月23日
当期分配金（税引前）	50円	50円	40円	40円	40円	40円
対基準価額比率	1.16%	1.22%	0.97%	0.95%	1.00%	0.99%
当期の収益	50円	50円	40円	40円	40円	40円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	1,343円	1,346円	1,350円	1,354円	1,357円	1,360円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（BRL）を高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（BRL）

主要先進国の国債利回りが低水準で推移する中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の需要は根強く、市場は堅調に推移すると思われます。引き続き、発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、世界の主要金融機関に継続して投資します。銘柄選択においては、繰上償還延期リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。加えて、「原資産通貨」を売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行います。

●DIAMマネーマザーファンド

日銀の物価目標である2%まではまだ距離があるため、当面は金融政策を据え置くと予想されています。今後もマイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを組入れた運用を行っていきます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第106期～第111期 (2018年10月24日 ～2019年4月23日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	28円	
(投信会社)	(10)	(0.247)	
(販売会社)	(17)	(0.404)	
(受託銀行)	(1)	(0.021)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	28	0.672	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

■ 売買及び取引の状況（2018年10月24日から2019年4月23日まで）

投資信託受益証券

		第 106 期 ～ 第 111 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 建	ダイヤモンド ファイナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス(BRL)	千口 0.55897	千円 2,000	千口 25.7	千円 93,654

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年10月24日から2019年4月23日まで）
 期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2018年10月24日から2019年4月23日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ン ド 名	第 18 作 成 期 末	第 19 作 成 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
ダイヤモンドファイナンシャルセキュリティーズファンドクラス(BRL)	194.02089	168.87986	567,605	97.8
合 計	194.02089	168.87986	567,605	97.8

(注) 比率は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 18 作 成 期 末	第 19 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	1,689	1,689	1,706

■投資信託財産の構成

2019年4月23日現在

項 目	第 19 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	567,605	96.7
D I A M マネーマザーファンド	1,706	0.3
コール・ローン等、その他	17,498	3.0
投資信託財産総額	586,809	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年11月26日)、(2018年12月25日)、(2019年1月23日)、(2019年2月25日)、(2019年3月25日)、(2019年4月23日)現在

項 目	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末
(A) 資 産	666,161,740円	622,782,221円	623,145,534円	622,057,138円	587,736,833円	586,809,796円
コール・ローン等	27,464,112	21,859,868	22,650,925	19,510,030	19,464,721	17,498,449
投資信託受益証券(評価額)	636,991,659	594,066,884	598,788,640	600,841,308	566,566,312	567,605,209
D I A M マネーマザーファンド(評価額)	1,705,969	1,705,969	1,705,969	1,705,800	1,705,800	1,706,138
未 収 入 金	-	5,149,500	-	-	-	-
(B) 負 債	8,861,531	13,728,524	7,522,056	7,070,742	8,211,170	6,426,151
未払収益分配金	7,744,594	7,537,895	6,046,012	5,892,318	5,823,737	5,795,037
未払解約金	243,604	5,505,395	810,500	416,900	1,755,438	-
未払信託報酬	871,359	683,691	664,048	759,807	630,570	629,691
その他未払費用	1,974	1,543	1,496	1,717	1,425	1,423
(C) 純資産総額(A-B)	657,300,209	609,053,697	615,623,478	614,986,396	579,525,663	580,383,645
元 本	1,548,918,805	1,507,579,158	1,511,503,135	1,473,079,570	1,455,934,440	1,448,759,472
次期繰越損益金	△891,618,596	△898,525,461	△895,879,657	△858,093,174	△876,408,777	△868,375,827
(D) 受 益 権 総 口 数	1,548,918,805口	1,507,579,158口	1,511,503,135口	1,473,079,570口	1,455,934,440口	1,448,759,472口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,244円	4,040円	4,073円	4,175円	3,980円	4,006円

(注) 第105期末における元本額は1,682,534,376円、当作成期間(第106期～第111期)中における追加設定元本額は34,373,081円、同解約元本額は268,147,985円です。

■損益の状況

〔自 2018年10月24日 至 2018年11月26日〕〔自 2018年11月27日 至 2018年12月25日〕〔自 2018年12月26日 至 2019年 1月23日〕〔自 2019年 1月24日 至 2019年 2月25日〕〔自 2019年 2月26日 至 2019年 3月25日〕〔自 2019年 3月26日 至 2019年 4月23日〕

項 目	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
(A) 配 当 等 収 益	10,640,758円	8,736,348円	6,979,765円	6,841,837円	6,778,067円	6,745,699円
受 取 配 当 金	10,642,662	8,737,725	6,981,029	6,842,990	6,778,697	6,746,565
受 取 利 息	36	10	1	9	2	-
支 払 利 息	△1,940	△1,387	△1,265	△1,162	△632	△866
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△27,897,481	△31,216,719	4,715,050	14,824,012	△28,625,490	3,394,379
売 買 益	704,616	607,675	4,724,653	15,130,751	125,178	3,440,846
売 買 損	△28,602,097	△31,824,394	△9,603	△306,739	△28,750,668	△46,467
(C) 信 託 報 酬 等	△873,333	△685,234	△665,544	△761,524	△631,995	△631,114
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	△18,130,056	△23,165,605	11,029,271	20,904,325	△22,479,418	9,508,964
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△690,931,708	△695,629,697	△723,638,842	△698,653,433	△673,988,798	△696,966,094
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△174,812,238	△172,192,264	△177,224,074	△174,451,748	△174,116,824	△175,123,660
(配 当 等 相 当 額)	(56,858,119)	(55,772,182)	(56,847,096)	(55,757,190)	(55,465,145)	(55,569,228)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△231,670,357)	(△227,964,446)	(△234,071,170)	(△230,208,938)	(△229,581,969)	(△230,692,888)
(G) 合 計 (D+E+F)	△883,874,002	△890,987,566	△889,833,645	△852,200,856	△870,585,040	△862,580,790
(H) 収 益 分 配 金	△7,744,594	△7,537,895	△6,046,012	△5,892,318	△5,823,737	△5,795,037
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△891,618,596	△898,525,461	△895,879,657	△858,093,174	△876,408,777	△868,375,827
追 加 信 託 差 損 益 金	△174,812,238	△172,192,264	△177,224,074	△174,451,748	△174,116,824	△175,123,660
(配 当 等 相 当 額)	(56,858,119)	(55,772,182)	(56,847,096)	(55,757,190)	(55,465,145)	(55,569,228)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△231,670,357)	(△227,964,446)	(△234,071,170)	(△230,208,938)	(△229,581,969)	(△230,692,888)
分 配 準 備 積 立 金	151,185,326	147,232,890	147,223,923	143,836,153	142,128,198	141,581,234
繰 越 損 益 金	△867,991,684	△873,566,087	△865,879,506	△827,477,579	△844,420,151	△834,833,401

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,768,419円	8,051,939円	6,583,209円	6,602,191円	6,146,666円	6,325,906円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	56,858,119	55,772,182	56,847,096	55,757,190	55,465,145	55,569,228
(d) 分 配 準 備 積 立 金	149,161,501	146,718,846	146,686,726	143,126,280	141,805,269	141,050,365
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	215,788,039	210,542,967	210,117,031	205,485,661	203,417,080	202,945,499
(f) 1万口当たり当期分配対象額	1,393.15	1,396.56	1,390.12	1,394.94	1,397.16	1,400.82
(g) 分 配 金	7,744,594	7,537,895	6,046,012	5,892,318	5,823,737	5,795,037
(h) 1万口当たり分配金	50	50	40	40	40	40

■分配金のお知らせ

決算期	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
1万口当たり分配金	50円	50円	40円	40円	40円	40円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）〈中国元コース〉

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 入金	騰落 中率		
第15作成期	82期(2016年11月24日)	円 10,431	円 55	% 4.0	% 98.0	百万円 388
	83期(2016年12月26日)	10,989	55	5.9	97.3	394
	84期(2017年1月23日)	10,888	55	△0.4	98.1	387
	85期(2017年2月23日)	10,801	55	△0.3	97.8	380
	86期(2017年3月23日)	10,560	55	△1.7	97.4	367
	87期(2017年4月24日)	10,412	55	△0.9	97.6	359
第16作成期	88期(2017年5月23日)	10,700	55	3.3	98.2	364
	89期(2017年6月23日)	10,802	55	1.5	97.6	368
	90期(2017年7月24日)	10,884	55	1.3	97.7	360
	91期(2017年8月23日)	10,882	55	0.5	97.6	358
	92期(2017年9月25日)	11,215	55	3.6	98.2	358
	93期(2017年10月23日)	11,276	55	1.0	97.9	354
第17作成期	94期(2017年11月24日)	11,142	55	△0.7	98.2	347
	95期(2017年12月25日)	11,345	55	2.3	98.2	350
	96期(2018年1月23日)	11,410	55	1.1	97.6	339
	97期(2018年2月23日)	10,965	55	△3.4	97.5	307
	98期(2018年3月23日)	10,762	55	△1.3	97.7	301
	99期(2018年4月23日)	11,019	55	2.9	97.4	306
第18作成期	100期(2018年5月23日)	11,136	55	1.6	97.5	300
	101期(2018年6月25日)	10,777	55	△2.7	97.6	285
	102期(2018年7月23日)	10,504	55	△2.0	97.5	276
	103期(2018年8月23日)	10,294	55	△1.5	97.5	270
	104期(2018年9月25日)	10,427	55	1.8	97.5	274
	105期(2018年10月23日)	10,261	55	△1.1	97.7	269
第19作成期	106期(2018年11月26日)	10,180	55	△0.3	99.6	264
	107期(2018年12月25日)	10,034	55	△0.9	97.5	259
	108期(2019年1月23日)	10,033	55	0.5	97.7	256
	109期(2019年2月25日)	10,359	55	3.8	97.4	263
	110期(2019年3月25日)	10,304	55	0.0	97.4	261
	111期(2019年4月23日)	10,528	55	2.7	128.2	202

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

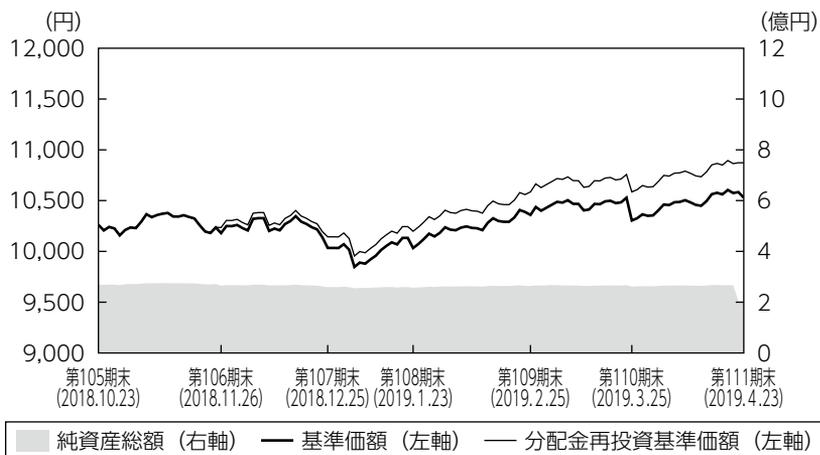
決算期	年 月 日	基準 価 額		投資信託受益証券 組 入 比 率
		騰 落 率	率	
第106期	(期 首) 2018 年 10 月 23 日	円	%	%
		10,261	-	97.7
	10 月 末	10,235	△0.3	97.7
第107期	(期 末) 2018 年 11 月 26 日	10,235	△0.3	99.6
	(期 首) 2018 年 11 月 26 日	10,180	-	99.6
	11 月 末	10,229	0.5	97.1
第108期	(期 末) 2018 年 12 月 25 日	10,089	△0.9	97.5
	(期 首) 2018 年 12 月 25 日	10,034	-	97.5
	12 月 末	10,071	0.4	97.4
第109期	(期 末) 2019 年 1 月 23 日	10,088	0.5	97.7
	(期 首) 2019 年 1 月 23 日	10,033	-	97.7
	1 月 末	10,237	2.0	97.6
第110期	(期 末) 2019 年 2 月 25 日	10,414	3.8	97.4
	(期 首) 2019 年 2 月 25 日	10,359	-	97.4
	2 月 末	10,430	0.7	97.3
第111期	(期 末) 2019 年 3 月 25 日	10,359	0.0	97.4
	(期 首) 2019 年 3 月 25 日	10,304	-	97.4
	3 月 末	10,354	0.5	97.3
第111期	(期 末) 2019 年 4 月 23 日	10,583	2.7	128.2

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第106期～第111期の運用経過（2018年10月24日から2019年4月23日まで）

基準価額等の推移



第106期首：10,261円
 第111期末：10,528円
 (既払分配金330円)
 騰落率：6.0%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ハイブリッド証券利回りと国債利回りの格差を示す信用スプレッドが縮小するとともに、世界的な金利の低下を背景にハイブリッド証券価格が上昇したことがプラス要因となりました。また、中国元は2018年末にかけて金融市場のリスク回避的な動きを受けて対円で下落しましたが、作成期後半にかけて金融市場のリスク許容度が改善したことを受けて上昇したこともプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイヤモンドフィナンシャルセキュリティーズファンドクラス(CNY)	6.7%
DIAMマネーマザーファンド	0.0%

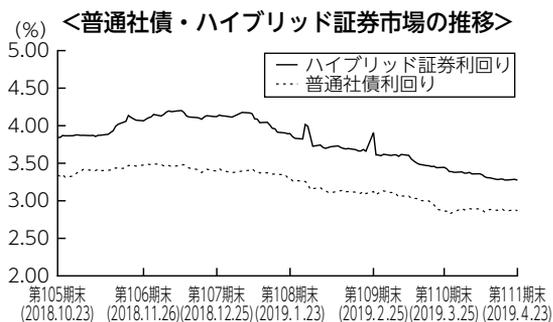
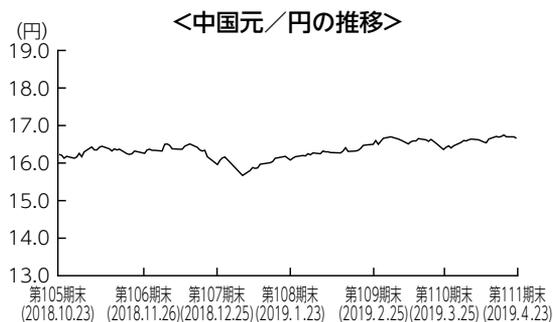
(注) ダイヤモンドフィナンシャルセキュリティーズファンドクラス(CNY)の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

ハイブリッド証券市場は上昇しました。グローバル経済に対する減速懸念が高まり、F R B（米連邦準備理事会）とE C B（欧州中央銀行）が金融緩和姿勢を強めたことから主要先進国の国債利回りは低下（価格は上昇）しました。信用スプレッドは、投資家のリスク回避的な動きを受けて一旦拡大した後、投資家のリスクセンチメントの回復を受けて主要株価指数等のリスク資産の価格が上昇する中、大きく縮小しました。

中国元／円相場は円安中国元高となりました。当作成期は、2018年末にかけて、米中貿易摩擦への懸念やグローバル経済に対する減速懸念が高まったことなどから中国元安が進みました。その後、F R BとE C Bが金融緩和姿勢を強めたことを受け、投資家のリスク許容度が回復したことに加え、中国政府の景気刺激策により中国経済の減速懸念が後退したことや米中通商協議進展への期待から、作成期初を上回る水準まで中国元は上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは $\Delta 0.3\%$ 台～ $\Delta 0.1\%$ 台で推移するなど、レンジ内の推移となりました。米国の金融引き締めペースはやや鈍化しつつありますが、日本の金融政策には変化がないことから国内短期金融市場への影響は限定的でした。



※普通社債利回りはブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合：社債インデックスの利回り (*)、ハイブリッド証券利回りはブルームバーグ・バークレイズ・グローバル優先証券インデックスの利回り (*) です。

(*) 利回りは、繰上償還利回りを表示しています。繰上償還利回りとは、債券の満期前に発行体により償還（コール）もしくは、買い戻され、繰上償還日に投資家が額面の支払いを受ける場合の利回りをいいます。繰上償還の実施は発行体の任意で行われるため、必ず繰上償還日に償還されるとは限りません。

※ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY) の組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY)

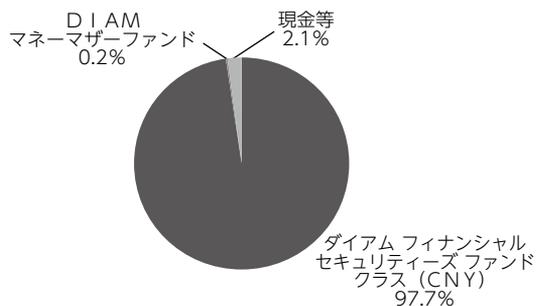
世界の主要金融機関が発行するハイブリッド証券を中心にポートフォリオを構成しました。発行体の業績動向や信用力に加えて、ハイブリッド証券特有のリスクを評価し、分散投資を基本としました。国別配分においては、フランス、米国、英国のウェイトを高く維持しました。債券種別においては、期限付劣後債のみのポートフォリオとしました。

また、ユーロ、米ドルなど複数通貨（以下、「原資産通貨」といいます。）を売り予約し、中国元を買い予約する為替取引を行いました。

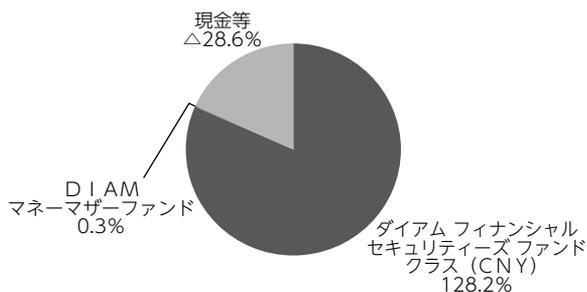
●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い政府保証債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。 前作成期末



当作成期末



分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
	2018年10月24日 ～2018年11月26日	2018年11月27日 ～2018年12月25日	2018年12月26日 ～2019年1月23日	2019年1月24日 ～2019年2月25日	2019年2月26日 ～2019年3月25日	2019年3月26日 ～2019年4月23日
当期分配金（税引前）	55円	55円	55円	55円	55円	55円
対基準価額比率	0.54%	0.55%	0.55%	0.53%	0.53%	0.52%
当期の収益	50円	55円	55円	55円	55円	55円
当期の収益以外	4円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	3,146円	3,148円	3,151円	3,162円	3,164円	3,177円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（CNY）を高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス（CNY）

主要先進国の国債利回りが低水準で推移する中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の需要は根強く、市場は堅調に推移すると思われます。引き続き、発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、世界の主要金融機関に継続して投資します。銘柄選択においては、繰上償還延期リスク、利息・配当繰延リスクなど、ハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。加えて、「原資産通貨」を売り予約し、中国元を買い予約する為替取引を行います。

●D I AMマネーマザーファンド

日銀の物価目標である2%まではまだ距離があるため、当面は金融政策を据え置くと予想されています。今後もマイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを組入れた運用を行ってまいります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第106期～第111期 (2018年10月24日 ～2019年4月23日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	69円	
(投信会社)	(25)	(0.247)	
(販売会社)	(41)	(0.403)	
(受託銀行)	(2)	(0.021)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	69	0.673	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

■ 売買及び取引の状況（2018年10月24日から2019年4月23日まで）

投資信託受益証券

		第 106 期 ～ 第 111 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 建	ダイヤモンド ファイナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (C N Y)	千口 0.24457	千円 2,500	千口 1.2	千円 12,280

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年10月24日から2019年4月23日まで）
 期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2018年10月24日から2019年4月23日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第18作成期末	第19作成期末		
	□数	□数	評価額	比率
	千□	千□	千円	%
ダイヤモンドフィナンシャルセキュリティーズファンドクラス(CNY)	25.63482	24.67939	259,849	128.2
合計	25.63482	24.67939	259,849	128.2

(注) 比率は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第18作成期末	第19作成期末	
	□数	□数	評価額
	千□	千□	千円
D I A M マネーマザーファンド	654	654	661

■投資信託財産の構成

2019年4月23日現在

項 目	第 19 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	259,849	97.3
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	661	0.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	6,459	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	266,970	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年11月26日)、(2018年12月25日)、(2019年1月23日)、(2019年2月25日)、(2019年3月25日)、(2019年4月23日)現在

項 目	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末
(A) 資 産	271,739,050円	262,275,145円	258,379,333円	267,237,182円	262,831,092円	266,970,247円
コール・ローン等	7,289,132	7,829,053	7,049,859	9,638,457	7,700,671	6,459,588
投資信託受益証券(評価額)	263,788,622	252,775,896	250,668,178	256,937,494	254,469,190	259,849,297
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	661,296	661,296	661,296	661,231	661,231	661,362
未 収 入 金	-	1,008,900	-	-	-	-
(B) 負 債	6,819,925	3,060,011	1,685,341	3,449,316	1,681,921	64,354,072
未払収益分配金	1,431,242	1,420,868	1,407,198	1,400,544	1,393,885	1,058,472
未払解約金	5,045,614	1,352,867	-	1,727,980	12,207	63,013,677
未払信託報酬	342,304	285,638	277,534	320,073	275,213	281,291
その他未払費用	765	638	609	719	616	632
(C) 純資産総額(A-B)	264,919,125	259,215,134	256,693,992	263,787,866	261,149,171	202,616,175
元 本	260,225,965	258,339,797	255,854,266	254,644,539	253,433,803	192,449,560
次期繰越損益金	4,693,160	875,337	839,726	9,143,327	7,715,368	10,166,615
(D) 受 益 権 総 口 数	260,225,965口	258,339,797口	255,854,266口	254,644,539口	253,433,803口	192,449,560口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,180円	10,034円	10,033円	10,359円	10,304円	10,528円

(注) 第105期末における元本額は262,772,173円、当作成期間(第106期～第111期)中における追加設定元本額は4,591,977円、同解約元本額は74,914,590円です。

■損益の状況

〔自 2018年10月24日 至 2018年11月26日〕〔自 2018年11月27日 至 2018年12月25日〕〔自 2018年12月26日 至 2019年 1月23日〕〔自 2019年 1月24日 至 2019年 2月25日〕〔自 2019年 2月26日 至 2019年 3月25日〕〔自 2019年 3月26日 至 2019年 4月23日〕

項 目	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
(A) 配 当 等 収 益	1,655,963円	1,761,192円	1,746,994円	1,738,596円	1,727,197円	1,371,144円
受 取 配 当 金	1,656,450	1,761,692	1,747,442	1,739,027	1,727,473	1,371,547
受 取 利 息	-	1	-	-	1	-
支 払 利 息	△487	△501	△448	△431	△277	△403
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△1,953,727	△3,837,880	△88,669	8,289,832	△1,442,119	4,276,892
売 買 益	37,413	45,849	7,172	8,337,516	5,200	5,380,238
売 買 損	△1,991,140	△3,883,729	△95,841	△47,684	△1,447,319	△1,103,346
(C) 信 託 報 酬 等	△343,069	△286,276	△278,143	△320,792	△275,829	△281,923
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△640,833	△2,362,964	1,380,182	9,707,636	9,249	5,366,113
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,957,080	877,098	△2,873,764	△2,881,931	5,390,375	3,036,807
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,808,155	3,782,071	3,740,506	3,718,166	3,709,629	2,822,167
(配 当 等 相 当 額)	(10,957,751)	(10,998,015)	(11,013,321)	(11,084,420)	(11,146,808)	(8,551,522)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△7,149,596)	(△7,215,944)	(△7,272,815)	(△7,366,254)	(△7,437,179)	(△5,729,355)
(G) 合 計 (D+E+F)	6,124,402	2,296,205	2,246,924	10,543,871	9,109,253	11,225,087
(H) 収 益 分 配 金	△1,431,242	△1,420,868	△1,407,198	△1,400,544	△1,393,885	△1,058,472
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	4,693,160	875,337	839,726	9,143,327	7,715,368	10,166,615
追 加 信 託 差 損 益 金	3,808,155	3,782,071	3,740,506	3,718,166	3,709,629	2,822,167
(配 当 等 相 当 額)	(10,957,751)	(10,998,015)	(11,013,321)	(11,084,420)	(11,146,808)	(8,551,522)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△7,149,596)	(△7,215,944)	(△7,272,815)	(△7,366,254)	(△7,437,179)	(△5,729,355)
分 配 準 備 積 立 金	70,927,503	70,348,102	69,612,103	69,442,545	69,054,985	52,595,793
繰 越 損 益 金	△70,042,498	△73,254,836	△72,512,883	△64,017,384	△65,049,246	△45,251,345

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,313,274円	1,475,237円	1,469,122円	1,683,297円	1,451,595円	1,302,718円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	10,957,751	10,998,015	11,013,321	11,084,420	11,146,808	8,551,522
(d) 分 配 準 備 積 立 金	71,045,471	70,293,733	69,550,179	69,159,792	68,997,275	52,351,547
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	83,316,496	82,766,985	82,032,622	81,927,509	81,595,678	62,205,787
(f) 1万口当たり当期分配対象額	3,201.70	3,203.80	3,206.22	3,217.33	3,219.61	3,232.32
(g) 分 配 金	1,431,242	1,420,868	1,407,198	1,400,544	1,393,885	1,058,472
(h) 1万口当たり分配金	55	55	55	55	55	55

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
1 万口当たり分配金	55円	55円	55円	55円	55円	55円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド

クラス (J P Y) / クラス (A U D) / クラス (B R L) / クラス (C N Y)

当ファンドは「世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン籍円建外国投資信託
投資方針および 主要投資対象	<p>①主として先進国の金融機関が発行したハイブリッド証券に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。</p> <p>②銘柄選定にあたっては、個別企業のファンダメンタルズ分析、個別企業の属する国の政策、バリュエーション分析、流動性等を考慮し選定します。</p> <p>③取得時において、Moody's、S & PまたはFitch（複数の格付機関が付与している場合は最も高い格付）による個別銘柄格付が、B B B -相当以上の格付を有する銘柄を対象とします。ただし、保有期間中に上記基準未滿となった場合であっても、市場環境や個別銘柄に対する投資判断に基づき、継続保有することがあります。</p> <p>④原則として、ファンドの純資産総額に対する1発行体当たりの有価証券の時価総額の割合は4%以内とし、発行体に対する信用リスクの分散を図ります。</p> <p>⑤ファンドは、ユーロ、米ドルなど複数通貨（以下、「原資産通貨」といいます。）に投資しますが、この「原資産通貨」に対し、各クラスの対象通貨で為替取引を行います。</p>
投資顧問会社	Asset Management One International Ltd.
受託銀行	CIBC BANK AND TRUST COMPANY (CAYMAN) LIMITED
管理事務代行会社	Mizuho Bank (USA)
保管銀行	Mizuho Trust&Banking (Luxembourg) S.A.

ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンドはケイマン籍外国投資信託で、2017年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下の「運用計算書および純資産変動計算書（損益計算書）」及び「投資有価証券・その他純資産明細書」等は、2017年12月31日現在の財務諸表の原文の翻訳を抜粋したものです。なお、クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト単位（ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド）で掲載しています。シリーズ・トラストは複数のクラスで構成されています。

運用計算書および純資産変動計算書
2017年12月期（2017年12月31日終了）

	日本円
期首現在純資産	2,748,418,924
収益の部	
税引後利息（源泉税控除1,321円）	87,276,088
収益合計	87,276,088
費用の部	
投資運用報酬	12,211,365
管理事務および保管報酬	7,560,522
監査報酬	3,837,517
受託報酬	1,863,632
その他費用	377,493
費用合計	25,850,529
純投資収益	61,425,559
投資有価証券売却による実現純利益	87,276,747
為替先渡契約および外貨取引による実現純利益	39,322,776
期中実現純利益額	126,599,523
投資有価証券による未実現純損益の変動	102,619,463
為替先渡契約および外貨取引による未実現純損益の変動	(119,619,584)
期中未実現純減額	(17,000,121)
運用による純資産の純増	171,024,961
受益権口発行収入	12,000,000
受益権口償還コスト	(400,335,600)
受益者取引による純支払額合計	(388,335,600)
受益者に支払われた分配金	(271,530,044)
期末現在純資産額	2,259,578,241

投資有価証券・その他純資産明細書
2017年12月31日現在
(日本円建て)

社債	額面	銘柄	通貨	償却原価	公正価値	対純資産比率
	500,000	ABN AMRO BANK N 7.125% 07/06/2022	EUR	63,717,089	86,483,267	3.83%
	100,000	AUST & NZ BANK 5.125% 09/10/19	EUR	10,750,271	14,702,806	0.65%
	550,000	BANQ FED CRD MU 3.00% 05/21/24	EUR	72,543,695	82,517,976	3.65%
	200,000	BARCLAYS BK PLC 10.00% 05/21/21	GBP	28,973,854	38,262,166	1.69%
	300,000	BARCLAYS PLC 2.00% 02/07/28 EMTN	EUR	39,043,632	40,480,347	1.79%
	500,000	BBVA SUB CAP UNIPERS 3.5% 04/11/24	EUR	67,192,628	70,493,550	3.12%
	200,000	BNP PARIBAS 5.75% 01/24/22	GBP	27,945,388	35,256,891	1.56%
	300,000	BNP PARIBAS 2.875% 03/20/26	EUR	42,108,584	43,415,467	1.92%
	500,000	BPCE 4.63% 07/18/23	EUR	70,211,845	80,777,512	3.57%
	300,000	CITIGROUP INC 5.50% 09/13/25	USD	31,705,961	38,085,005	1.69%
	200,000	CITIGROUP INC 5.88% 07/01/24	GBP	25,750,070	37,033,273	1.64%
	100,000	COM BK AUSTRALI 5.50% 08/06/19	EUR	14,043,062	14,720,365	0.65%
	221,000	COMMERZBANK AG 4.000% 03/30/27 EMTN	EUR	21,931,028	34,120,379	1.51%
	300,000	COMMERZBANK AG 7.75% 03/16/21	EUR	39,837,719	49,260,099	2.18%
	300,000	CREDIT AGRICOLE 7.38% 12/18/23	GBP	43,196,203	59,187,743	2.62%
	200,000	CREDIT SUISSE 6.50% 08/08/23	USD	19,862,000	25,269,831	1.12%
	400,000	CREDIT SUISSE 5.75% 09/18/25	EUR	54,728,444	61,599,716	2.73%
	200,000	DANSKE BANK A/S 3.875% 10/04/23	EUR	26,520,694	27,852,788	1.23%
	100,000	DEUTSCHE BANK A 5.00% 06/24/20	EUR	11,527,297	14,910,674	0.66%
	350,000	GOLDMAN SACHS 4.75% 10/12/2021	EUR	47,027,690	54,525,715	2.41%
	200,000	GOLDMAN SACHS GP 4.250% 10/21/25	USD	21,891,744	23,555,140	1.04%
	200,000	HSBC HOLDINGS 4.25% 03/14/24	USD	20,330,925	23,542,722	1.04%
	100,000	HSBC HOLDINGS 3.375% 01/10/24	EUR	13,282,648	13,988,909	0.62%
	100,000	ING BANK NV 2.5% 02/25/26	EUR	13,114,724	14,804,965	0.66%
	300,000	ING GROEP NV 3.625% 02/15/29 EMTN	EUR	35,849,418	43,203,696	1.91%
	200,000	INTESA SANPAOLO 2.86% 04/23/25	EUR	25,604,002	27,973,807	1.24%
	400,000	INTESA SANPAOLO 3.93% 09/15/26	EUR	51,819,910	59,377,138	2.63%
	300,000	JPMORGAN CHASE 3.375% 05/01/23	USD	32,702,542	34,363,531	1.52%
	200,000	KBC GROEP NV 2.375% 11/25/24 EMTN	EUR	23,443,031	28,134,824	1.25%
	400,000	KBC GROUP NV 1.625% 09/18/29 EMTN	EUR	52,361,410	54,379,724	2.41%
	300,000	LLOYDS TSB BANK 6.50% 03/24/20	EUR	34,275,925	46,321,118	2.05%
	100,000	MERRILL LYNCH 5.50% 11/22/21	GBP	14,950,168	17,397,205	0.77%
	300,000	MORGAN STANLEY 4.10% 05/22/23	USD	30,575,600	35,221,519	1.56%
	200,000	MORGAN STANLEY 4.875% 11/01/22	USD	21,089,118	24,269,414	1.07%
	400,000	NATL AUSTRALIAB 2.00% 11/12/24	EUR	56,762,923	55,654,956	2.46%
	200,000	NAT'L WESTMINSTER BK 6.50% 09/07/21	GBP	27,729,327	35,416,478	1.57%
	200,000	NORDEA BANK AB 4.25% 09/21/22	USD	20,512,412	23,649,732	1.05%
	100,000	NORDEA BANK AB 4.50% 03/26/20	EUR	11,035,530	14,857,291	0.66%
	200,000	RABOBANK 3.88% 07/25/23	EUR	26,680,018	31,544,294	1.40%
	250,000	RABOBANK 4.63% 05/23/29	GBP	42,774,330	44,973,635	1.99%
	600,000	SANTANDER ISSUA 2.50% 03/18/25	EUR	65,839,234	85,264,724	3.77%

額面	銘柄	通貨	償却原価	公正価値	対純資産比率
550,000	SKANDINAV ENSKI 2.50% 05/28/2026	EUR	74,459,336	78,961,756	3.49%
400,000	SOCIETE GENERAL 4.00% 06/07/23	EUR	52,072,014	62,704,772	2.78%
100,000	SOCIETE GENERAL 2.50% 09/16/26	EUR	13,590,775	14,367,346	0.64%
200,000	STANDARD CHART 3.63% 11/23/22	EUR	20,809,229	30,371,791	1.34%
300,000	STANDARD CHART 7.75% 04/03/18	GBP	35,113,937	46,510,849	2.06%
300,000	SUMITOMO MITSUI 4.00% 11/09/20	EUR	33,243,079	44,861,850	1.99%
300,000	SUMITOMO MITSUI 4.85% 03/01/22	USD	24,090,592	35,903,034	1.59%
200,000	SVENSKA HNDLSBK FXtoVA 01/15/24	EUR	27,590,772	27,780,761	1.23%
300,000	UBS AG 5.125% 05/15/24	USD	30,580,448	36,545,367	1.61%
100,000	UBS AG FXtoFL 02/12/2026	EUR	14,356,236	15,205,501	0.67%
250,000	UBS AG JERSEY FXtoFL 08/17/2022	USD	19,704,787	32,987,180	1.46%
300,000	UNICREDIT SPA FXtoVA 05/02/23	USD	29,817,001	34,256,971	1.52%
100,000	UNICREDIT SPA FXtoVA 10/28/25	EUR	15,156,251	15,079,495	0.67%
200,000	WELLS FARGO 5.25% 08/01/23	GBP	23,685,821	35,887,833	1.59%
400,000	WELLS FARGO CO 4.13% 08/15/23	USD	38,319,051	47,424,460	2.09%
社債合計			1,853,831,422	2,205,699,358	97.62%
投資有価証券公正価値合計			1,853,831,422	2,205,699,358	97.62%

		2017年12月31日
クラスA U D (日本円)		
期末現在純資産額		163,880,974
期末現在1口当たり純資産価額		8,323
クラスB R L (日本円)		
期末現在純資産額		964,729,297
期末現在1口当たり純資産価額		4,711
クラスC N Y (日本円)		
期末現在純資産額		346,133,081
期末現在1口当たり純資産価額		11,410
クラスJ P Y (日本円)		
期末現在純資産額		784,834,889
期末現在1口当たり純資産価額		7,870

為替先渡契約

2017年12月31日現在、未決済の為替先渡契約は下記の通りです。

満期日	購入通貨	金額	売却通貨	金額	未実現利益
クラスA U D					
2018年1月24日	AUD	1,890,000	JPY	160,580,070	5,649,679
クラスB R L					
2018年1月24日	EUR	300,000	JPY	39,813,000	846,095
クラスC N Y					
2018年1月24日	CNY	20,092,000	JPY	341,271,260	5,506,530
ファンド全体					
2018年1月24日	EUR	5,801,597	JPY	774,803,265	11,488,994
2018年1月24日	JPY	419,641,314	USD	3,710,000	2,062,859
					25,554,157

満期日	購入通貨	金額	売却通貨	金額	未実現損失
クラスA U D					
2018年1月24日	JPY	160,580,070	EUR	1,208,695	(3,234,736)
クラスB R L					
2018年1月24日	BRL	29,470,000	JPY	1,021,618,808	(23,282,036)
2018年1月24日	JPY	39,813,000	BRL	1,179,450	(142,491)
2018年1月24日	JPY	1,021,618,809	EUR	7,663,503	(17,018,146)
クラスC N Y					
2018年1月24日	JPY	341,271,260	EUR	2,551,397	(4,520,446)
クラスJ P Y					
2018年1月24日	JPY	793,300,000	EUR	5,979,137	(17,054,389)
ファンド全体					
2018年1月24日	JPY	355,161,950	GBP	2,340,000	(1,453,006)
					(66,705,250)

注：米国みずほ銀行が上記オープン為替先渡契約の相手方となります。

D I A Mマネーマザーファンド

運用報告書

第10期（決算日 2019年4月5日）

（計算期間 2018年4月6日～2019年4月5日）

D I A Mマネーマザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	新株予約権 付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落 中率				
6期(2015年4月6日)	10,090	0.1	82.8	—	—	百万円 9,524
7期(2016年4月5日)	10,098	0.1	80.6	—	—	3,158
8期(2017年4月5日)	10,104	0.1	71.2	—	—	1,045
9期(2018年4月5日)	10,099	△0.0	71.1	—	—	1,030
10期(2019年4月5日)	10,098	△0.0	79.4	—	—	16,167

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

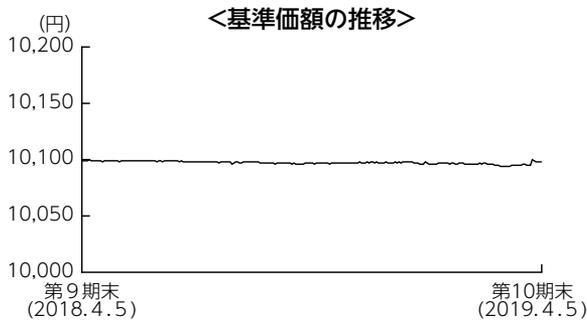
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比	券 率	新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	債 先 物 比	券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2018年 4 月 5 日	10,099	% -		% 71.1		% -	% -
4 月 末	10,099	0.0		71.0	-	-	-
5 月 末	10,099	0.0		73.6	-	-	-
6 月 末	10,098	△0.0		72.2	-	-	-
7 月 末	10,098	△0.0		72.2	-	-	-
8 月 末	10,097	△0.0		88.4	-	-	-
9 月 末	10,097	△0.0		79.1	-	-	-
10 月 末	10,097	△0.0		77.9	-	-	-
11 月 末	10,097	△0.0		78.2	-	-	-
12 月 末	10,096	△0.0		71.4	-	-	-
2019年 1 月 末	10,097	△0.0		71.4	-	-	-
2 月 末	10,095	△0.0		71.4	-	-	-
3 月 末	10,100	0.0		79.4	-	-	-
(期 末) 2019年 4 月 5 日	10,098	△0.0		79.4	-	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2018年4月6日から2019年4月5日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,098円となり、前期末比で0.01%下落しました。

基準価額の主な変動要因

日銀のマイナス金利政策によってコールローンがマイナス利回りとなっているため、その影響を受けて基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは概ね $\Delta 0.3\% \sim \Delta 0.1\%$ 台で推移しました。米国が

金融政策正常化のペースを落としたことや国債市場の需給要因から一時的に利回りが低下する局面もありましたが、米国や中国の景気が市場の見方ほど悪くないのではないかとの見通しが強まったことから期末にかけて利回りは上昇し、期を通して見るとレンジ内での推移となりました。

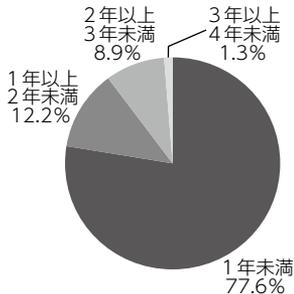
ポートフォリオについて

残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

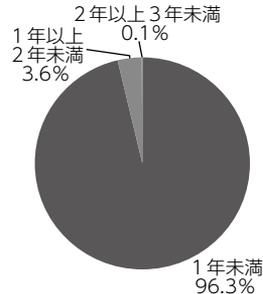
【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比

期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、国債や政府保証債、地方債などを中心に運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合 計	0	0.000

(注) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(10,097円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については7ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

■ 売買及び取引の状況 (2018年4月6日から2019年4月5日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国 債 証 券	12,636,104	(-)
	地 方 債 証 券	40,605	(34,950)
	特 殊 債 券	-	200,019 (329,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年4月6日から2019年4月5日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 12,676	百万円 202	% 1.6	百万円 200	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	12,600,000	12,631,008	78.1	—	—	—	78.1
地 方 債 証 券	135,830	136,409	0.8	0.6	—	—	0.8
特 殊 債 券	66,000	67,019	0.4	—	—	0.1	0.4
合 計	12,801,830	12,834,437	79.4	0.6	—	0.1	79.3

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、B B格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	%	千円	千円	
(国債証券)				
3 0 1 回 利付国庫債券（10年）	1.5000	200,000	200,658	2019/06/20
1 2 3 回 利付国庫債券（5年）	0.1000	12,000,000	12,029,040	2020/03/20
3 8 8 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,281	2020/05/15
3 9 1 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,672	2020/08/01
3 9 2 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,357	2020/09/01
小 計	—	12,600,000	12,631,008	—
(地方債証券)				
2 6 年度 4 回 静岡県公募公債	0.2090	14,810	14,816	2019/06/24
2 6 年度 1 回 大阪市みおつくし債	0.2200	6,000	5,999	2019/06/27
2 1 年度 6 回 愛知県公募公債	1.4400	10,000	10,045	2019/07/30
2 6 年度 京都府京都みらい債	0.1600	9,200	9,194	2019/09/02
3 3 1 回 大阪府公募公債	1.4100	10,000	10,078	2019/10/29
2 6 年度 7 回 福岡県公募公債	0.2000	6,500	6,495	2019/12/25
2 1 年度 3 5 回 兵庫県公募公債	1.4600	40,000	40,457	2020/01/22
4 3 回 川崎市公募公債 5年	0.1370	10,850	10,863	2020/03/19
2 7 年度 2 回 千葉県公募公債	0.1770	14,670	14,697	2020/05/25
2 7 年度 京都府京都みらい債	0.1000	13,800	13,762	2020/09/02
小 計	—	135,830	136,409	—
(特殊債券)				
8 9 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	4,000	4,026	2019/09/30
9 3 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	8,000	8,075	2019/11/29

銘	柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(特殊債券)		%	千円	千円	
1 0 0 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	9,000	9,117	2020/02/28
1 1 2 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.1000	30,000	30,455	2020/07/31
1 1 7 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.0000	6,000	6,093	2020/09/30
1 3 3 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	5,000	5,139	2021/04/30
1 3 7 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.2000	4,000	4,111	2021/06/30
小	計	—	66,000	67,019	—
合	計	—	12,801,830	12,834,437	—

■投資信託財産の構成

2019年4月5日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
公 社 債	千円		%
12,834,437		79.4	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,332,745		20.6
投 資 信 託 財 産 総 額	16,167,183		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年4月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	16,167,183,546円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,330,773,596
公 社 債(評価額)	12,834,437,613
未 収 利 息	1,577,825
前 払 費 用	394,512
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	16,167,183,546
元 本	16,010,803,187
次 期 繰 越 損 益 金	156,380,359
(D) 受 益 権 総 口 数	16,010,803,187口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,098円

■損益の状況

当期 自2018年4月6日 至2019年4月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	6,929,090円
受 取 利 息	7,285,281
支 払 利 息	△356,191
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△10,516,322
売 買 損 益	73,746
売 買 損 益	△10,590,068
(C) そ の 他 費 用	△279
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△3,587,511
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	10,082,629
(F) 解 約 差 損 益 金	△48,033
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	149,933,274
(H) 合 計(D+E+F+G)	156,380,359
次 期 繰 越 損 益 金(H)	156,380,359

(注1) 期首元本額 1,020,388,428円
追加設定元本額 14,995,366,726円
一部解約元本額 4,951,967円

(注2) 期末における元本の内訳

クルーズコントロール	990,000,991円
ダイナミック・ナビゲーション	98,710円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <円コース>	1,281,836円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <豪ドルコース>	246,797円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <ブラジルレアルコース>	1,689,581円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <中国元コース>	654,944円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円
ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型	103,986円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 資源通貨バスケットコース	4,486,988円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド ブラジルレアルコース	4,586,699円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 円コース	997,109円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円
DIAM 米国リート・インカムプラス	994,728円
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円
DIAM・ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>	9,935円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 円コース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 米ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 豪ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) メキシコペソコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) トルコリラコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) ブラジルレアルコース	9,925円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジあり	9,924円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジなし	9,924円
米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジあり>	9,909円
米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジなし>	9,909円
マッシュューズ・アジア株式ファンド	99,019,705円
One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円
リスクコントロール型ETF分散投資ファンド (適格機関投資家限定)	39,612,786円
USD/JPYダイナミックヘッジ戦略ファンド-2019 (適格機関投資家限定)	14,851,485,149円
期末元本合計	16,010,803,187円

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。